



防災対策をまた一歩前へ！ **ペットとの同行避難が実現！**

東日本大震災以降、環境省から「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」が示され、ペットと飼い主との同行避難が推進されています。

災害時にペットと飼い主が離れ離れになってしまい、動物を保護することには多大な労力と時間を要するだけでなく、繁殖により増加してしまえば、住民の安全や公衆衛生上の環境が悪化することも懸念され、動物たちにとっても残酷でかわいそうなことで心痛むことです。ただ、同行避難といっても、その対応は自治体によって様々です。



この度、地域防災計画が改訂されますが、朝霞市においてはぜひ、ペットと飼い主との同行避難を推進する内容としていただきたい。そのためにも平時から飼い主さんのしつけが大事です。ペットの災害対策セミナーなど開催し、飼い主さんへの啓発やペットを飼っていない方への理解にもつなげていただきたいと思っております。

答弁は…ペット対策について見直しを図っており、ペットを避難所へ連れてこないことを原則としていた現行の地域防災計画を、**ペット同伴で避難する事を想定した内容**となっています。今後、防災訓練等の機会に同行避難を想定した訓練を実施するなどして、市民に理解を得ることが必要と考えております。

また、災害に備えた飼い主への周知、啓発など具体的にどのような連携・協力ができるか検討したい。そして、活動されている個人や団体の現状把握に努め、機会を捕えて**意見交換を図れる場**を提供できるよう努力してまいります。

ボランティアバス今年も運行！

東日本大震災から今月で丸5年となりました。

いまだ仮設住宅に暮らす人は被災3県で5万人を超える数となっています。公明党としても、闘い続けているのが「風評と風化」の2つの風です。

私は、朝霞において、何かできないかと、ボランティアバスの運行事業をと訴え形となり、実施され昨年で2年となりました。朝霞市が市の事業として、しっかり震災復興に関わっていることにとても誇りに思っています、今後について伺います。



参加した方は朝霞市の**地域福祉の人材**です、今後、広く活躍できるようなことができないか。

答弁…本事業の実施により、参加者のボランティアへの理解が深まり、ボランティア活動への意欲を高められたことは、大きな成果であると考えております。

今後につきましては、**引き続き事業を実施**してまいりたいと考えております。

また、**地域福祉を担う中心的存在として活動**いただけるよう、事業を実施してまいりたい。

彩夏ちゃん見守り支援員の推進を！

見守りとは、高齢者だけでなく、子どもや障がいを持つ方を含め、身の周りのちょっとした気づきに目を向けていくということ。支援員の方々は、地域の大事な目です。

私は今まで学校や商店会などで、認知症サポーター養成講座の実施をと訴え続けています。講座終了後に彩夏ちゃん見守り支援員への推進をしていただきたく思いますが、

答弁…見守り支援員は、地域の中で暮らす身近な方に起こった生活上の困り事に、いち早く気づき、必要な支援につなげていくという役割ですので、安心して暮らしていける地域社会の実現に向けて、多くの方々にご登録いただきたいと思います。

今後、**商工会や教育委員会等と連携し取り組みを進めてまいります。**



ストリートライブをより良く改善を！

「音楽のまちあさか」として昨年1月にスタートしたストリートライブ事業。市内外のミュージシャンらが活動の場のひとつとしています。音楽は、障がいの有無、年齢や性別に関わらず誰にでも楽しむことができます。増して、演奏者やパフォーマーにとって、市公認で公の場で堂々と表現できる喜びはとて大きいと思います。利用する方々から、**マイクやアンプ使用**などの声や、雨天時の対応、またライブ日程など周知で広場に掲示板の設置など、見直しや改善ができないか。



答弁…**運用方法を見直す必要があると判断し、現在検討を進めています。**

雨天の場合は、朝霞駅東口の屋根が設置されているスペースでの活動についても検討や、周知は、**活動場所付近への掲示などについて検討**していきたい。パフォーマーのみなさまがやりがいを持って活動ができ、かつ、視聴者を増やすことで、地域活性化が図られる事業となるよう、工夫を重ねながら展開していきたい。

地域での活動・ホームページやSNSでも発信中！



地域での語る会では、政治の話なども活発に

ホームページ



Facebook



LINE



Twitter

